

# 令和7年8月6日からの大雨におけるTEC-FORCEの活動

・TEC-FORCE派遣人数 のべ1,036人・日  
・災害対策用機械等 のべ 89台・日

- 8月6日（水）から12日（火）にかけて、日本付近に停滞した前線や前線上の低気圧に向かって日本の南や東シナ海から暖かく湿った空気が流れ込んだため、石川県で線状降水帯が発生し、北陸地方で大雨となり、その後、前線が九州付近に南下して福岡県、山口県、大分県、熊本県、長崎県、鹿児島県で線状降水帯が発生し、熊本県、鹿児島県で大雨特別警報を発表され、熊本県や福岡県では600ミリを超えたほか、その他の九州北部地方、九州南部、北陸地方、及び甲信地方でも500ミリを超え、平年の8月の月降水量の3倍以上となるほか、各地で24時間降水量が観測史上1位を更新するなど記録的な大雨となった。
- この記録的な大雨の影響により県管理の58水系78河川で浸水被害を確認したほか、248件の土砂災害や最大約42,343戸の断水が発生。
- ホットラインを全国の94自治体(64市28町2村)と構築し、リエゾンを19自治体(6県庁14市6町)に派遣し自治体のニーズを把握。
- 被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター（ほくりく号(北陸地整)、きんき号(近畿地整)、はるかぜ号(九州地整))、TEC-FORCE隊員の被災状況調査班及び高度技術指導班等を派遣（北陸地整、九州地整、国総研）により被災状況調査を実施し、被災地の早期復旧を支援。
- 災害対策用機械等（排水ポンプ車、散水車(給水装置付)等）を派遣し、排水支援や断水した地域に給水支援を実施。
- 通信が途絶された自治体においては、衛星インターネット装置を貸与し通信環境を確保。

## 自治体のニーズを把握(リエゾン)



自治体職員との情報共有  
(熊本県美里町)

## 被災状況調査



被災状況調査(道路)  
(熊本県宇城市)



ドローン操作

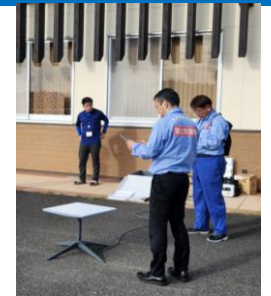


ドローン撮影画像



自治体との情報共有

## 通信環境確保



衛星インターネット装置  
(熊本県上天草市)

## 被災状況調査(防災ヘリ)



熊本県甲佐町土砂流出状況  
(防災ヘリ「はるかぜ号」)

防災ヘリによる調査  
(熊本県)



石川県七尾市中島町小牧(国道249号) 道路崩落  
(防災ヘリ「ほくりく号」)

防災ヘリによる調査  
(石川県)

## 災害対策用機械等(排水ポンプ車・散水車(給水装置付)等)



排水ポンプ車による排水支援[内水排除]  
(石川県金沢市)



散水車(給水装置付)による給水支援  
(鹿児島県始良市)